



— 2011 —

茨城大学大学院 人文科学研究科

文化科学専攻

人間文化コース

コミュニケーションコース

地域政策専攻

国際経済社会コース

地域法政策コース

Graduate School of Humanities
Ibaraki University



茨城大学
Ibaraki University

研 究 科 長 挨 拶

人文科学研究科長 佐々木 寛司

人文科学研究科は教育カリキュラムに改善を加え、平成21年度より「文化科学専攻」と「地域政策専攻」の2専攻となりました。

「文化科学専攻」では、人間科学、歴史・文化遺産、文芸・思想、言語科学、異文化コミュニケーション、メディア文化に関する研究を行い、その研究から得られた専門知識を教授します。

「地域政策専攻」では、経済・経営、国際社会、法律、地域社会・福祉に関する研究を行い、その研究から得られた専門知識を教授します。

授業は、密度の濃い少人数教育です。2年間にわたる教員の丁寧な指導の下で、専門的なテーマを修士論文として執筆します。同級生と日々、切磋琢磨しながら、「基盤養成科目」で幅広く深い教養を吸収し、「研究推進科目」で高度な専門知識を学び、「キャリア支援科目」で専門職業人に必須の技能を身につけることができるような、独自のカリキュラムが編成されています。また、社会人の方々には、履修が容易になるような様々な方策を実施しており、留学生諸君には、きめ細かい日本語教育を保証しています。

自らの新たな可能性を信じ、向学心に燃えている学生、社会人、そしてあらためて自分自身を見つめ直す機会を探している方々、人間が生きることの意味を、そして人間が作り上げる社会を、じっくり考えてみませんか。私たち人文科学研究科の教員は、このような方々が人文科学研究科に入学され、研究・調査・分析能力を磨き、判断力・構想力・実践力をレベルアップして修了し、文化と社会の持続的な発展に貢献してくださることを願ってやみません。



新しい研究科が始まりました

コミュニティ・ マネージャー 養成プログラム

が受講できます

研究科の目的

わたしたちの研究科は、広く文化と社会の進展に寄与するために、人間の文化と現代社会が直面する学術的・政策的諸課題についての研究を行っています。そして、そこから得られる専門知識の教授をとおして、産業界はじめ広く知識基盤社会の中核を多様に担い、文化と社会の持続的発展のために貢献する専門職業人、すなわち中核的専門職業人を育成することを目標としています。

研究科の沿革

わたしたちの研究科は平成 3 年度に文化構造専攻と言語文化専攻の2専攻体制で発足したのに始まります。その後、平成 6 年度に地域政策専攻が、平成 12 年度にコミュニケーション学専攻が設置され4専攻体制になりましたが、平成 21 年度に文化科学専攻(人間文化コース、コミュニケーションコース)と地域政策専攻(国際経済社会コース、地域法政策コース)の2専攻4コースに改組され、新たな体制とカリキュラムのもとでの教育がスタートしました。

課程の概要

修業年限は2年で、所定の単位を修得し、指導教員のもとで研究の成果を論文等にまとめ、審査と最終試験に合格すると、修士(学術)の学位が授与されます。また、新たに副専攻として「コミュニティ・マネージャー(地域人材)養成プログラム」を受講できる仕組みも始まりました。これは地域連携的な調査・実習をつづけて実践的知識とスキルの獲得をめざすものです。さらに中学校教諭および高等学校教諭の1種免許状の授与資格を得ている人が、研究科に在学して所定の単位を修得した場合には、それぞれの専修免許状(国語、社会、地理歴史、公民、英語、ドイツ語、フランス語)を取得する資格が得られます。

社会人・外国人留学生 のために

本研究科では社会人や外国人留学生を積極的に受け入れるべく、入試においては特別選抜を行なっています。また、職業を有する人の修学の便宜を図って、修業年限の延長を認める「長期履修制度」や夜間開講等の仕組みも設けられています。(詳しくは11頁参照)こうした背景のもとで、国籍においても年齢においても多様な人々の学びの場となっています。

皆さんの入学を歓迎します

わたしたちの研究科では、人文社会諸科学の研究に必要な基礎的能力を備え、深い関心と熱意を持った方の入学を歓迎します。

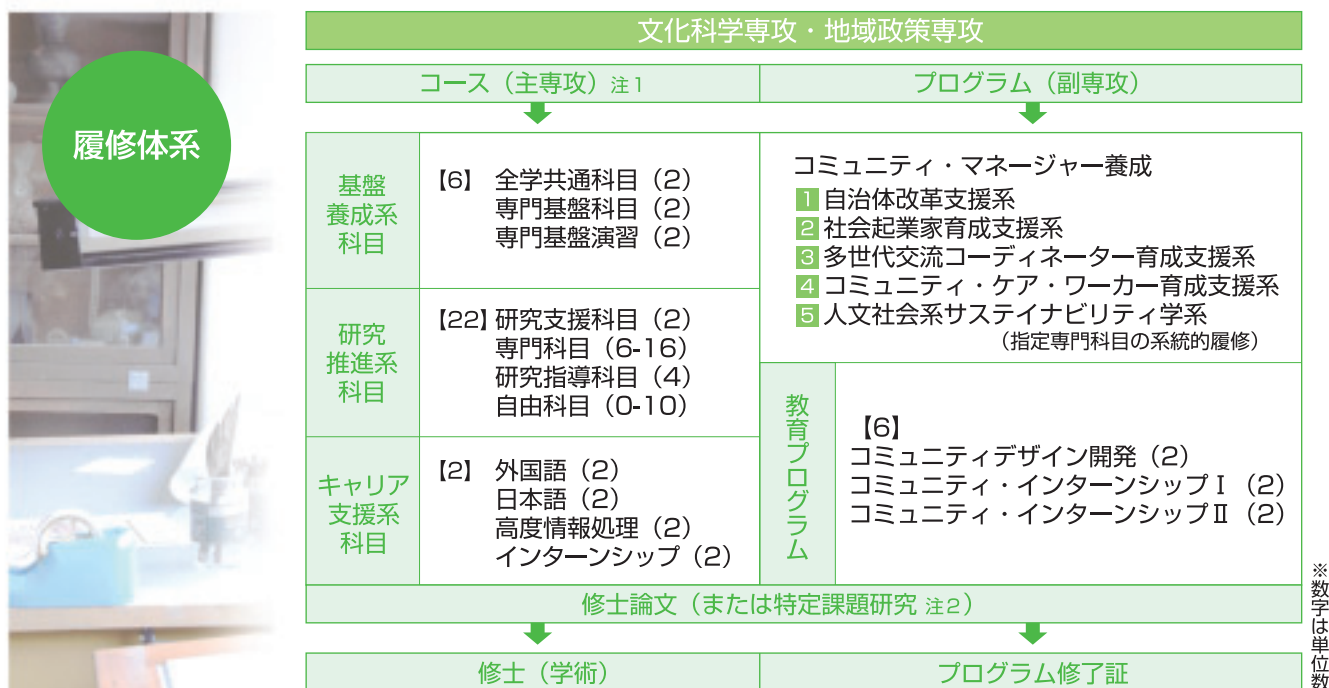
在学中には、幅広い視野と深い専門性を身につけ、意欲的、計画的に研究・調査・分析をすすめ、判断力・構想力・想像力等の自己形成に励んでいただきたいと思います。修了後には、知識基盤社会における中核的専門職業人としてこれらの能力を発揮し、文化と社会の持続的発展のために貢献されることを期待しています。



専攻科目、共通科目、そしてプログラム科目 俯瞰的な視野を身につけ、高度な専門知識を究める

■ カリキュラムの概要

わたしたちの研究科では、専攻科目により専門分野に関する高度の専門的知識及び能力を習得するだけでなく、幅広い学識と専門分野に関連する基礎的素養を養うため、大学院共通科目、研究科共通科目が開講されています。また、副専攻としての教育プログラムを履修することも出来ます。



※数字は単位数

注1: コースは「研究・学習の対象領域のまとまり」であり、プログラムは「知識やスキルを身に付ける実践的な体系」であり、研究科では、学生はコースから学ぶ専門知識を材料とし、プログラムから得られる実践的なスキルや方法を駆使して、現代の人間、社会、文化の諸側面にアプローチしていきます。
 注2: 映像作品やソフトウェアの開発、行政機関や地域社会との共同企画などをもって、修士論文に代えることができます。

■ 共通科目

大学院共通科目は、茨城大学大学院全体の共通科目であり、幅広い学識と俯瞰的視野及び職業的素養などを涵養します。理系の学生とも一緒に学ぶ画期的なものです。

研究科共通科目は、人文科学研究科が開講するもので、専門に近い領域で基盤的な学識や素養を修得します。

科目の区分		授業科目名 (担当教員)	
大学院 共通科目	基盤養成科目		
	地球環境システム論Ⅰ、持続社会システム論Ⅰ、人間システム基礎論Ⅰ、学術英会話、学校教育基礎論、科学と倫理、学術情報リテラシー		
研究科 共通科目	基盤養成科目	専門基盤科目	
	人文社会科学基礎論Ⅰ、人文社会科学基礎論Ⅱ		
	キャリア支援 科目	外国語	英語講読、英作文、英会話、ドイツ語表現法、フランス語表現法、中国語表現法
		日本語	日本語表現法Ⅰ、日本語表現法Ⅱ
インターンシップ		インターンシップ、実践的キャリアデザイン論	
	高度情報処理	高度情報処理	

注) 開講科目名は平成22年度のもの。

コミュニティ・マネージャー（地域人材） 養成プログラム

—地域連携・社会貢献を目指して—

わたしたちの研究科では、すべての学生が履修するコース（主専攻）に加えて、選択でプログラム（副専攻）もあわせて履修することが出来ます。この教育プログラム（コミュニティ・マネージャー養成プログラム）は、学外の協力機関とも連携し、幅広い分野の知識を基盤に地域・社会を主体的に構想しデザインできる発想と技能を身に付けてもらい、地域・社会において求められる人材を育てることを目指しています。

なお、コース修了のためには30単位が必要ですが、プログラムも併せて履修する場合は、下記の5つのサブ・プログラムの中からひとつを選択し、最低限34単位の履修をすることが必要となります。プログラム履修を終えた学生には、コース履修の修士号に加えて、プログラムの「修了認定証」が交付されます。



サブ・プログラム

1 自治体改革支援

自治体行政におけるNPMとガバナンスや「協働」の考え方、自治体の広域化と財政状態悪化という自治体行政の環境変化等に関する専門科目の体系的な履修を通じて、自治体改革の基礎的理論や事例を学びます。これにより、広い視野から自治体行政が抱える問題点を把握し、問題解決の方向性を考察し、現場で実践できる行政職員の育成を支援します。

2 社会起業家 育成支援

マイクロビジネス（創業・経営革新事例）、コミュニティ・ビジネス等の専門諸科目の体系的な履修を通じて、持続可能なコミュニティ形成を支援するツールについて学習します。これにより、「社会起業家」の存在と役割、およびその社会的意義について理解を深め、「企業と地域とコミュニティ・ビジネスの連携のあり方」について考究します。

3 多世代交流 コーディネーター 育成支援

地域、保育、学校、福祉など、さまざまな生活領域において、子どもから青壮年そして高齢者による多世代交流を支援できるような担い手の育成を目指します。心理・社会関連科目の学修はもちろん、現場でのフィールドワークも重視して、多世代・多領域の人たちをつなぐ幅広いコミュニケーション能力と深い考察力を育みます。

4 コミュニティ・ ケア・ワーカー 育成支援 (※H23年度開講については未定)

地域における福祉・医療・看護などの関連領域問題に取り組みます。問題の背景やその解決のための方法としての多角的な視点（Multi-disciplinary）からアプローチすることが可能になることを目標とします。異なる領域の専門家の協働や必要なシステムの構築、ボランティアや非専門家の活用などができるようにします。

5 人文社会系 サステナビリティ学

持続可能な社会の構築のために、科学的な態度で論理的に物事を捉え分析できる能力を有しつつ、人間や社会に対する深い洞察ができる人文社会諸科学のセンスと知識を備えた人材を育てることを目指します。主に人間システムおよび社会システムにかかわる広い理解とそれぞれの専門性を持ち、国際的にも活躍できる人材の育成を目指します。

文化科学専攻の概要

文化科学専攻は人間文化コースとコミュニケーションコースの2つのコースから成っています。

■ 人間文化コース

人間文化コースには、人間科学分野、歴史・文化遺産分野、文芸・思想分野、言語科学分野の4分野があります。

- 各分野の主な研究領域は、およそ次の通りです。
 - 人間科学分野 心理学、社会学、文化人類学
 - 歴史・文化遺産分野 考古学、日本史、ユーラシア史、アジア史、ヨーロッパ近現代史
 - 文芸・思想分野 日本思想史、哲学、美術史、国語・国文学、中国思想・文学、ドイツ文学、フランス文学、イギリス文学、アメリカ文学
 - 言語科学分野 言語学、英語学、英文法論
- 修了後の主な進路は、大学院博士課程への進学や留学、教員、学芸員、公務員や各種民間企業、NPOなどです。



【主な授業科目】

分 野	主 な 授 業 科 目
人間科学	行動機構論、認知行動論、社会行動論、心理臨床論、生涯発達論、行動文化論、現代社会論、文化人類学
歴史・文化遺産	日本考古学、中国考古学、日本文化史、日本社会文化史、日本社会史、ユーラシア歴史文化論、アジア歴史文化論、ヨーロッパ歴史文化論
文芸・思想	日本思想史、古典哲学、現代哲学、美術史、日本古典・近代語、日本古典文学、中国古代言語文学、中国近現代言語文学、中国古代文化、ドイツ近代言語文学、ドイツ現代言語文学、フランス近代言語文学、フランス現代言語文学、アメリカ近代言語文学、アメリカ現代言語文学
言語科学	記述言語学、言語理論、対照文法、認知言語学、英語学、英文法論

【教員一覧】

分 野	教 員 名
人間科学	宮崎 章夫、有富美代子、伊藤 哲司、石井 宏典、野口 康彦、松本光太郎、稲葉奈々子、青山 和夫
歴史・文化遺産	田中 裕、鈴木 敦、高橋 修、磯田 道史、佐々木寛司、澁谷 浩一、山田 桂子、深澤 安博
文芸・思想	伊藤 聡、渡邊 邦夫、守屋 唱進、藤原 貞朗、櫻井 豪人、堀口 育男、井澤 耕一、西野由希子、真柳 誠、小泉 淳二、佐藤 和夫、神田 大吾、大畠 一芳、小泉由美子
言語科学	藤井 文男、郷路 拓也、永井 典子、鄭 基成、岡崎 正男、西山 國雄

院生の声



文化科学専攻
三輪 佳那子
[平成21年度入学]

私が所属している文化科学専攻には、人間科学、歴史・文化遺産、文芸・思想、言語科学といった多様な分野があります。その中でも、私の専門は心理学です。心理学というと一般的にはカウンセラーなどの臨床心理学が思い浮かぶと思いますが、実は心理学にもいろいろあります。社会心理学・発達心理学・認知心理学・感情心理学など、こうした多様な分野を大学の授業よりも更に深く学ぶことが出来ます。1つの分野の専門性を極めることも勿論重要なことですが、その他の分野と自分の専門分野を繋いで知識の幅を広げることが出来る、それが人文科学研究科の魅力です。

大学院の授業は、直接的にも間接的にも修士論文を見据えて行われます。多くが少人数の演習なので、質問や意見交換が気楽に出来ます。また、昨年度から導入されたプログラムマネージャー養成プログラムも新しい魅力です。

大学院では、2年という短い期間で意義のある論文を書き上げなければいけません。私の研究は茨大の大学生を対象とした反芻思考の傾向に関するものなので、今後入学してくる学生にとって少しでも役に立つものなることを願い研究を進めています。期間が短いので苦労も多いですが、自分の好きな研究が出来るので楽しいと思うことのほうが多いです。

大学院終了後は、大学から今まで学んできた心理学を活かせる職に就きたいと考えています。研究も就職活動も、目的の実現のために努力したいと思います。

☐ コミュニケーションコース

コミュニケーションコースは異文化コミュニケーション分野、メディア文化分野の2分野があります。

- グローバル化や高度情報化への対応を意識して、異文化コミュニケーション、国際協力、メディア文化、メディア環境などの理論とあり方を研究するとともに、高度な外国語の能力や実践的な技能を獲得することをめざしています。
- 修了生には、マスコミや情報関連企業、NGO、NPOなど国際協力の第一線で活躍することが期待されています。



【主な授業科目】

分 野	主 な 授 業 科 目
異文化 コミュニケーション	異文化理解とコミュニケーション、国際交流実践論、グローバル・イシュー研究、多言語社会と言語紛争、異文化接触と文化の生成、日韓（朝）文化交流の歴史と現状、日本・アジア対照研究、Language and Culture in English-speaking Countries、Teaching Media English
メディア文化	現代ジャーナリズム論、ヨーロッパ映画論、広告コミュニケーション論、情報とコミュニケーション、放送メディア論、新しい情報技術とコミュニケーション革命、コミュニケーションの社会学

【教員一覧】

分 野	教 員 名
異文化 コミュニケーション	金本 節子、東 佳史、三輪 徳子、伏見 厚次郎、梁 継国、糟谷 政和、杉本 妙子、 ジョイス・イザベル・カニンガム、シュミット・ロナルド
メディア文化	古賀純一郎、青木 研二、高野 光平、菅谷 克行、佐野 博彦、鈴木 栄幸、加藤 篤志

院生の声



文化科学専攻
アーロン・エリー・メナ・アラザ
【平成21年度入学】

私はコスタリカからの国費留学生です。2007年にコスタリカ大学社会学部マス・コミュニケーション学科視聴覚メディア制作専攻を卒業し、去年から茨城大学大学院人文科学研究科文化科学専攻に所属して、NHKの公共放送モデルとETVの教育番組を研究しています。

学部生の時から教育メディアに興味を持っていた私は、優れた教育番組が放送されている日本に留学し、研究する希望を抱きました。2008年4月に来日し、茨城大学と実際に触れることができ、日本の大学は研究活動を発展させるのにとっても良い環境を与えてくれているという印象を受けました。留学生としては日本語で講座を受講したり、修士論文を作成したりするのは確かに難しい事ですが、日本には質の高い教材が溢れており、書物だけではなく視聴覚教材まで簡単に手に入れることができます。更に、茨城大学大学院人文科学研究科の講座のほとんどは少人数で行う形式になっており、院生は先生方からそれぞれの研究に必要な知識を吸収することができます。大学院の授業に参加し、大学の設備を利用することにより、自分の研究で興味深く、新しい知識を作り出したい院生には、それを実現する可能性があると感じました。世界の多くの国の大学が経済的制限を持っていることを考えると、こういった日本の大学教育の長所がわかってきます。日本にいるうちにできるだけ多くのことを経験し、専門知識を獲得し、コスタリカに戻ってから、教育番組のデザインと制作に生かしたいと考えており、茨城大学大学院で勉強する機会を与えられたことを嬉しく思っています。

「強靱で柔軟な分析能力」が必要！

英語学は、英語という個別言語を言語学的な視点から研究する学問です。英語に言語学的視点からメスを入れ解剖し、英語という個別言語の普遍性と個別性を明らかにすることが目的となります。

文化科学専攻で上述の特徴をもつ英語学を勉強して得られる最大の利点は、大学院で修得した専門知識を活かせる職場へ就職可能な学問的実力が、確実に身につくことです。前身の言語文化専攻の時代から、修了生は高等学校（英語教員）や言語学書籍も出版する出版社に確実に就職しています。県派遣の現職英語教員の修了生もいます。

厳しい個人指導とコースワークの連動により、専門職に必要な学問的実力が確実に身につきますので、英語学で受験をめざす方は、大学院での勉強に耐える「基礎体力」を蓄えてください。言語分析の基礎となる「英語力」と、論文で透明な論述をするための「強靱で柔軟な分析能力」が必要となります。

先生の一言

文化科学専攻准教授
英語学
岡崎 正男

地域政策専攻の概要

地域政策専攻は国際経済社会コースと地域法政策コースの2つのコースから成っています。

■ 国際経済社会コース

国際経済社会コースには、経営・経済分野、国際社会分野があります。

- 複雑でグローバル化している経済や社会を、経済学・政治学などの専門性に基づいて把握しつつ、多角的な視点で問題解決に努める人材養成をめざしています。
- 修了生には、大学院博士課程への進学、公務員や教員、金融・流通・メーカーなどでの活躍が期待されています。



【主な授業科目】

分 野	主 な 授 業 科 目
経済・経営	理論経済学研究、経済統計研究、経済政策研究、政治経済学研究、財政学研究、金融論研究、労働経済論研究、日本経済研究、管理会計論研究、監査論研究、経営学研究、経営組織論研究
国際社会	アメリカ産業論研究、現代資本主義論研究、国際政治学研究、アジア政治論研究、アジア社会論研究、ヨーロッパ社会史研究、社会地理学研究、経済地理学研究

【教員一覧】

分 野	教 員 名
経済・経営	石垣 健志、田中 泉、後藤 玲子、新田 滋、兪 和、内田 聡、清山 玲、有泉 哲、佐藤 英一、高井美智明、牧 良明、小阪玄二郎
国際社会	藤本 共一、館山 豊、蓮井 誠一郎、木村 昌孝、金 光男、中田 潤、葉 倩瑋、小原 規宏

院生の声



地域政策専攻
酒葉 真知子
【平成21年度入学】

私は地域法政策コースで農山村の研究をしています。進学したきっかけは学部生の頃に読んだ農山村の本です。同じ国の中の問題なのに、何も自分は何も知らなかったことにショックを受け、もっと農山村の勉強してみたいと進学しました。

院に進んでみると、学部生の頃とは異なることが多く初めてのうちは戸惑いの連続でした。学部とは違う大きな点は授業体制です。学部生の頃は大きな講義室で先生の話をお聴きするのが大半でしたが、院では少人数制で主役は院生です。院生が持ち回りで発表をし、その本の中から論点を見つけディスカッションをします。また、社会学の修士論文は本を読んでいるだけでは書けません。講義以外の活動では私は修士論文の材料集めをかねて、フィールドワークを大子町で行っています。ここでは一軒一軒農家のお家の方をお願いをし、聞き取り調査を行っています。ヒアリング調査は得意ですか？私は実を言えば学部生の頃は苦手でした。しかし、先生方に指導していただいたことで、少しずつですが苦手意識を克服してきています。もちろん、人対人の調査のため上手くいかないこと辛いこともあります。でも、だからこそ得られるものも大きいのではないかと、私は思っています。

私は、院は人との出会いの場だと一年間を終え感じています。先生方との距離はグッと近いものになります。院生室に行けば、自分とは異なる専門を研究する仲間に出会えます。専門が違えば、同じ問題を見てもまったく違う切り口を指摘してくれます。また、地域政策では留学生の方が多くいます。国や文化の違いからの思考の違いも面白いですが、院生室ではよく中国語が飛び交っており、日本にいながら留学生気分も味わえたのが私は一番面白いと感じました。

院への進学で悩んでいるのなら進んでみてはいかがでしょうか？歩いて、迷って立ち止まっても使う時間は一緒です。ならば、歩いた方が見えてくるものがありますよ。たとえ、どんなにこんな回り道で遠回りじゃないかと思った事でも、歩いてそこで得たものはいつか必ず自分の中の財産になると私は考えています。

■ 地域法政策コース

地域法政策コースには法律分野、地域社会・福祉分野があります。

- 地域社会が直面している諸課題を、政治・経済・社会・福祉などの専門研究に基づいて多角的にとらえたり、法的思考能力を持って実践的に解決していく人材の育成をめざしています。
- 修了後は、行政・民間企業・NPOの職員として調査分析能力や企画立案能力を発揮する、司法書士・行政書士等として活躍するなど、多様な進路が考えられます。



【主な授業科目】

分 野	主 な 授 業 科 目
法 律	憲法研究、民法研究A、民法研究B、刑法研究、商法・経済法研究、労働法研究、社会保障法研究、行政法研究、比較法研究
地域社会・福祉	地域経済論研究、農業経済論研究、地方自治論研究、都市計画論研究、消費社会論研究、環境社会学研究、産業・労働社会学研究、家族社会学研究、社会システム論研究、行政学研究、公共政策論研究、生活保障論研究

【教員一覧】

分 野	教 員 名
法 律	齊藤 笑美子、飯塚 和之、石井 智弥、陶山 二郎、荒木 雅也、深谷 信夫、土屋 和子、寺 洋平、古屋 等
地域社会・福祉	齋藤 典生、河野 直践、田中 重博、斎藤 義則、鎌田 彰仁、原口 弥生、神谷 拓平、渋谷 敦司、村中 知子、佐川 泰弘、井上 拓也、富江 直子

修士生の声



地域政策専攻
泉 清志
【平成21年度修了】

私は社会人として有職のまま大学院に入学しました。ところで社会人が大学院で学ぶ目的にはどのようなものがあるのでしょうか。例えば、キャリアアップとか専門性を高めてプロフェッショナルを目指すこととか、あるいは博士課程への道のりとして「修士号」の学位を取得することなど、大学からの延長で大学院へ進学するのは少し違って、社会人の場合は専門性へのこだわりや課題研究への意識がより明確に存在しているのではないかと思います。私の場合は、ある専門領域における研究活動が目的でした。私は原子力発電設備を製造する関係の仕事をしています。原子力発電所が立地している地域では、賛否論をはじめとしてさまざまな社会問題を抱えており、そのような「原子力と地域社会」について仕事とは違った立場で何らかの社会貢献をしたいとの思いがありました。そこで、学術的な専門知識修得のため大学院での研究を選択した訳です。しかし現実には、学費の負担とか自由な時間が減ってしまうなど、多くの犠牲とそれに対する家族の理解が必要でしたし、仕事と学問を両立させるための苦労や修士論文では時間的制約下での厳しい研究活動が求められるなど、院生の生活は想像以上に変化ではありました。でも私は大学院での研究活動によって、目標とした論文が完成できた満足感を得るとともに、新たな生きがいを見つけることができたと思っています。私の経験からいえば、社会人にとっての大学院は人生の価値を更に高めてくれる場でもあるように思います。近年、大学院は社会人を受け入れていく環境を整えつつあります。茨城大学大学院も例外ではなく社会人特別選抜入試や長期履修制度、あるいは夜間授業なども整備されています。私も入学当初は長期履修制度を利用して4年での卒業を目指していましたが、院生仲間の協力や先生方のご支援、それと自分でも少し頑張った結果、2年間で卒業することができました。そして卒業後には、うれしいことに茨城大学人文学部に所属する地域総合研究所で研究を続けていく環境も供与していただきました。仕事との両立は大変ですが、もうしばらく課題研究も頑張りたいと思っています。

より善い経済社会を実現するための方法論を学ぶ

おそらくは誰も、「いまの経済社会をより善くしたい」と思っていることでしょう。では、“より善い”とは、いかなる状態のことを言うのでしょうか。都会に住む高齢者にとって“より善い”状態が、地方でこれから生を享ける将来世代にとっても“より善い”とは限りません。地域社会に暮らす多様な人々にとって可能かつ最善の経済政策を提示するには、経済現象や社会問題を、感覚ではなく科学的な根拠に基づいて論理的に分析することが必要になります。

地域政策専攻には、社会諸科学に精通する専門スタッフが揃っており、さまざまな地域の政策について、多面的に学ぶことができます。専門的な分析視角や分析手法を修得するのは大変ですが、経済社会をより善くするための方法論を身につけることができるならば、二年間を費やす価値は十分にあると思いませんか？是非、共に切磋琢磨しましょう。

先生の一言

地域政策専攻准教授
経済政策
後藤 玲子

秋入試と春入試

1年に2回のチャンスがあります

■ 入試情報

入試は「秋入試」と「春入試」の2回実施されます。
入試には、一般選抜のほか、社会人と外国人留学生に向けた特別選抜があります。

■ 募集人員

専攻	募集人員			社会人特別選抜、 外国人留学生 特別選抜を含む
	合計	内訳		
		秋入試	春入試	
文化科学専攻	13名	9名	4名	
地域政策専攻	12名	8名	4名	

■ 出願期間

秋入試	平成22年8月30日(月)～平成22年9月6日(月)
春入試	平成23年1月11日(火)～平成23年1月18日(火)

■ 試験日時

【秋入試】

平成22年10月30日(土)			
専攻	試験区分	試験科目及び時間割	
文化科学専攻	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	筆記試験(専門科目) 10:00～12:00	口述試験 14:00～
地域政策専攻	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜		

【春入試】

平成23年2月19日(土)			
専攻	試験区分	試験科目及び時間割	
文化科学専攻	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	筆記試験(小論文) 10:00～12:00	口述試験 14:00～
地域政策専攻	一般選抜 社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	筆記試験(専門科目) 10:00～12:00	

注1) 筆記試験(専門科目、小論文)の問題は、一般選抜、社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜によって異なることがあります。
注2) 文化科学専攻コミュニケーションコースの口述試験においては、一般選抜、特別選抜を問わず、英語での面接を行なう場合があります。

■ 試験場

茨城大学人文学部(茨城県水戸市文京2-1-1)

■ 合格者発表

秋入試	平成22年11月24日(水) 13時頃
春入試	平成23年3月8日(火) 13時頃

働きながら学ぼうとする人を支援する制度

わたしたちの研究科には、社会人、特に職業と学業を両立させようと思っている人を支援する制度があります。

その一つは、長期履修制度です。この制度は、職業を有している等、修学に困難を抱えている学生に対して、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができるというものです。長期履修学生として認められた場合、授業料は、標準修業年限分の授業料総額を、認められた一定の期間に学期毎に均分して支払うことになります。

もう一つは、授業や研究指導などの教育を、社会人で入学後も勤務を継続する場合など、教育上特別の必要があると認められる場合、夜間など学生の都合に合わせた時間または時期に行うことができる制度です。（大学院設置基準第14条の特例）たとえば、文化科学専攻コミュニケーションコースでは、すでに大部分の授業を夜間に開講しています。

入学料・授業料

入学手続きの際納付する入学料及び授業料は、次のとおりです。

入学料 282,000円
授業料 267,900円（年額 535,800円）

（注1）入学手続きまでに入学料及び授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料及び授業料が適用されます。

（注2）在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

入学料については免除及び徴収猶予制度、また、授業料については免除及び徴収猶予並びに月割分納制度があります。詳細は学務部学生生活課に問い合わせてください。

奨学金

日本学生支援機構による奨学金制度が主であり、無利子貸与の第一種奨学金と有利子貸与の第二種奨学金の2種類があります。日本学生支援機構の奨学金は、本人の請求に基づき、日本学生支援機構奨学規定により選考の上、奨学生に採用されると貸与されます。貸与月額は第一種奨学金は50,000円・88,000円から選択、第二種奨学金は50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円の中から選択することができます。

また、日本学生支援機構大学院第一種奨学生で、在学時に特に優れた業績を挙げた者として機構が認定した場合、貸与期間終了時に学資金の全部または一部の返還が免除されます。詳細は、学務部学生生活課に問い合わせてください。

修了生の主な進路

文化構造

メイソコア(株) KCScorp. 栃木県立博物館 秋田県教育委員会文化財主事
水戸市教育委員会文化財主事 水戸市教育委員会埋蔵文化財専門員
キーゴン(株)中国支社 児童養護施設「こどもの里」 茨城県警察 文京区障害者就労支援センター
茨城県職員 茨城県立高校教員 (株)ヨークベニマル 社会福祉法人翠清福祉会
(財)水府明徳会徳川博物館学芸員 エアハース・インターナショナル(株)
(独)高齢障害者雇用支援機構

言語文化

全国農業協同組合連合会茨城県本部 水戸市役所 (株)アイエックスときわテクノロジー
(株)ジェイ・アイ・エム 茨城県立小瀬高等学校

地域政策

大中物産 全国農業協同組合連合会茨城県本部 日本郵政公社 (株)茨城銀行 読売広告社
(株)ノザワールド 財経大学教員 (株)TKX シモデン(株) 中国民生銀行 (株)丸和製作所
静岡県中学校教員 石岡市役所 スターツコーポレーション(株) 日本赤十字社 陸上自衛隊

コミュニケーション

エフ・ディー・シー 椿本バルクシステム 茨城県教育委員会 JOBX ハノイ大学教員
鶴祥システム Glory Art Holding Ltd.(香港) 住友商事(株) コンピューtron(株)
インドネシア教育大学教員 (株)ヤマダ電機



【アクセス】

JR水戸駅(北口)バスターミナル7番乗り場から茨城交通バス「茨大行(栄町経由)」に乗車、「茨大前」で下車。

※乗車時間は約30分ですが、交通渋滞により40分以上かかる場合があります。

またはJR赤塚駅(北口)バスターミナルから茨城交通バス「茨大前行(曙町経由)」に乗車、「茨大正門前」で下車。

茨城大学

茨城大学大学院 人文科学研究科

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

電話 029-228-8106 FAX 029-228-8196

URL <http://www.hum.ibaraki.ac.jp>